



(佛園議員)

Q 町民グラウンドの排水と放送設備の改善を。

A 排水設備は改善方法を検討し対策を、放送設備は18年度内の修繕を予定している。
(片川生涯学習課長)



町民グラウンド

Q 町民グラウンドについて、排水が悪く、雨天の翌日が晴天でも使用できない状況である。また、広いグラウンドに対し放送が聞こえないため、改善工事をしてはどうか。

A 排水の悪化は、グラウンドに埋設されている透水管の孔の目詰まりが原因と考えられる。全て改修する場合には、相当の費用を要することから、具体的な状態を調査し、経済的かつ効果的な方法を検討していく。スピーカーについても、経年の劣化により数台が異常を来たしていることが昨今の調査で判明したため、本施設の指定管理者と協議の上、年度内には修繕を行う予定である。



スピーカー

(井上議員、田原議員)

Q 学校におけるいじめ問題への対応について。

A 家庭や地域全体と連携し、指導・啓発に努めていく。
(西原教育長)



Q いじめ、子どもの自死など、痛ましい事件のニュースが続いている。文部科学省の全国調査では、児童・生徒の「いじめによる自殺」が'99年以降7年間ゼロという、実態とかけ離れたものとなっている。熊野町では、いじめ、不登校などはどんな状態か。
政府がすすめている「競争と序列」の教育ではなく、子どもが本来もつ、自らの成長と仲間との成長を喜べる感性をのばす教育、現在の教育基本法の目ざす「人格の完成」の教育を進めていく時だと思うが、どう考えるか。
(田原議員)

Q いじめに関して、町内の学校の現状はどうか。国においても様々な対策が出されており、その中でカウンセラーの増員とその制度の充実がある。そのことについて、町はどう考えているか。
(井上議員)

A 毎月各小中学校から不登校、いじめ等の有無について報告を受けており、いじめについては、今年度小学校で2件、中学校で5件である。それに対し、両中学校に週1回のカウンセラーの導入により、心のケアやいじめに對する指導・啓発に努めている。また、「教育基本法」についても、当然のことながら現在制定されている諸法規にのっとり、その精神をくみ取りながら教育行政を進めていく。